

JASMA 会報

2024年2月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

1. 新年のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 年頭所感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. 2024年新年賀詞交歓会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4. 共通基盤ネットワーク研究会（戦略策定事業）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
5. 第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品決定・・・・・・・・・・・・・4
6. 第36回部品品部会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
7. JIAM 2024 OSAKA 出展状況・募集について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

1. 新年のご挨拶



初めに、この度の能登半島地震で亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様ならびにそ

のご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の皆様の安全と早期復興をお祈りいたします。

昨年を振り返りますと、日本および世界中で経済・社会環境が大きく変化した一年でした。新型コロナウイルスの脅威から脱却し、経済・社会活動が正常に向かうとともに、生成AIやクロスリアリティ等の革新的な技術活用や電気自動車の普及が急速に進みました。また、インドを中心に西南アジアエリアが大きく成長しました。一方で、ロシア・ウクライナ紛争の長期化や中東の紛争等地政学リスクの高まり、中国での不動産不況による中国景気の低迷、世界的なインフレにより消費が減退・経済成長も鈍化する等まだら模様の展開となりました。このような経済環境の中、国内景気は雇用情勢の改善、企業の堅調な設備投資、そしてインバウンド需要の高まりから景気は緩やかに回復しました。

本年は、地政学リスクの継続や人件費・物流費の上昇等前年からの課題は一部継続すると思いますが、過度なインフレがようやく鎮静化し、労働力不足を受けた生産性向上のための設備投資の拡大や技術革新の更なる加速など好循環が連鎖するとともに、新興国経済の成長が見込まれるなど、

一般社団法人 日本縫製機械工業会
会長 内梨 晋介

これらの要素が成長ドライバーとなり、日本および世界経済が回復・飛躍に向かっていくことを真に期待しています。

縫製機械業界においては、アパレル業界の買い控えや在庫消化の影響が一部には残りますが、SDGs「持続可能な開発目標」の浸透による消費者マインドの変化、縫製工場での人材不足への対応など市場の動きを取り入れ、省力化や脱技能化に対応した製品やサービスを提供することでお客様のニーズに添えていくことになるものと考えております。

令和6年（2024年）の干支（えと）は「甲辰（きのえたつ）」です。甲辰には「新しいことを始める、今まで準備していたことが成果になる」といった意味があるようです。新たな技術革新が業界の飛躍につながることを期待しております。

このような状況を踏まえ、当工業会は次の3つの取り組みを主に実施いたします。

一つ目は、**JIAM 2024 OSAKA** です。本年11月27日（水）から30日（土）までの4日間、インテックス大阪において開催いたします。日本語名称を「国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市」と変更し、テーマを「**JIAM** からつながる... ～次世代技術と匠の技のコラボレーション2024～」として、現在出展者募集中です。日本の最新技術と匠の技を組み合わせた製品やソリューションを発信する場として、国内外の縫製機械のお客様に向け最新情報を発信してまいります。

です。

引き続き、縫製機械業界の皆様からの積極的な出展に加えて、アパレル・繊維業界、産業資材関連そして関係官公庁・団体の皆様方からのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

二つ目は、家庭用ミシンを使った「ものづくり」の普及促進に関することです。「第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」は、コロナ禍が明けて学校活動が活発になる中で、家庭科教育として作品作りに取り組んでいただき、応募校数472校、応募作品数2,735点となりました。いずれも素晴らしい出来栄の力作やアイデア溢れる個性的な作品です。関係された先生方、学校関係者、ご賛同いただいた皆様方のご協力に深く感謝いたします。

表彰式は、来る3月2日（土）に開催致しますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。私共としましては、今後も本コンクールが、自らものを作る楽しみを経験することによりミシンを通じた我が国「ものづくり」文化のすそ野拡大や将来のアパレル・ファッション・繊維産業を担う人材の育成に寄与していくものと期待しております。

2. 年頭所感



冒頭、本年1月1日に発生しました令和6年能登半島地震において亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り申しあげるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

政府一丸となって、「人命第一」で、救命・救助活動に全力を尽くしてまいります。経済産業省としても、総力を挙げ、関係省庁と連携していきます。

- ①電力、石油、ガスのエネルギーインフラの復旧
- ②ストーブ等の暖房器具や灯油など経済産業省が所管する物資について、「プッシュ型支援」の実施
- ③コンビニ等からの支援物資の供給強化
- ④中小企業・小規模事業者の資金繰り支援の強化等に緊張感をもって取り組んでまいります。

引き続き、産業界をはじめとする国民の皆様にも、御協力いただきますようよろしくお願い致します。

昨年は、コロナ禍が収束に向かい活気が戻った一方で、国際経済秩序が変化した年でした。こう

三つ目は、自動化・ロボット化・IoT・ネットワーク化の技術革新が進む中、縫製機械業界でのコネクテッド・インダストリーズやDXの推進です。

本年度の「共通基盤ネットワーク研究会」は、一般財団法人機械システム振興協会様の「縫製工程の自動化に向けたCADデータ活用に関する戦略策定事業」として、同財団の委託を受け、業界関係者や関係する先生方にご議論をいただき、CADデータを新たに作成した「共通フォーマット」で試作機に繋げ、実際に縫製した実証結果を基に事業報告書をまとめているところです。この成果につきましては、縫製工場、アパレル関連の方々を含め業界関係者への報告会を予定しておりますので、ご期待ください。

最後になりますが、本年も、会員企業間のコミュニケーションの更なる充実を図りつつ、経済産業省様を始め、関係諸団体との連携を密にし、当工業会の着実な運営と発展に向けて努力してまいります。

本年の皆様方の一層のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

経済産業省製造産業局 産業機械課
課長 安田 篤

した新たな経済構造の転換の時期において、産業界の皆様には、高水準の賃上げ実現や国内投資の促進等に、ご尽力いただきましたこと改めて感謝申し上げます。経済界の皆様のご尽力もあり、日本史上最高を更新する国内投資見通し、実に30年ぶりとなる高水準の賃上げの実現など、成長と改革の方向に向かう「潮目の変化」が生じています。経済産業省では、物価高に負けない賃上げを実現できるよう、引き続き賃上げのカギとなる取引適正化・価格転嫁対策の推進や事業再構築への支援、省力化や生産性向上の取組、中堅企業の大規模投資支援等を通じた、国内投資の加速と成長力強化に全力を尽くしてまいります。

産業界では物価高やエネルギー高の影響で様々な課題に直面していると存じます。経済産業省では、足元のエネルギー高への対策として、燃料油価格、電気・ガス料金にかかる激変緩和措置を本年春まで継続するとともに、省エネ型の経済・社会構造への転換を実現すべく、企業・家庭向けの支援を実施します。そして、昨年につきGXやDXも進めていきます。GXについては、昨年末に、

エネルギー分野、くらし分野、産業分野それぞれ各分野の戦略に基づき、20兆円規模のGX経済移行債を活用した投資促進策を実行していきます。DXについては、DXを実現した設備導入だけでなく、DXに資する人材の育成の支援も行っています。

また、産業界の皆様には、本年4月から適用されるトラックドライバーの時間外労働上限規制等により、輸送力の不足が懸念される「物流の2024年問題」の解決に向け、対策を講じていただいております。深刻な人手不足の中、産業界における物流の適正化や生産性向上のため、荷主企業の物流施設の自動化、機械化などに向けた支援策等を進めてまいります。

1年後に迫った大阪・関西万博では、ポストコロナの新たな世界、次世代技術・社会システムが形作る未来社会の風景観を示し、我が国のイノベーションの可能性を世界に発信していきます。経済産業省として、世界中から来訪する様々な人達が刺激を与え合えるような万博にできるよう、準備に邁進してまいります。是非、産業界の皆様にも「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマに沿って一緒に盛り上げていただければ幸いです。

我が国を取り巻く外的環境は日に日に厳しさを増しています。今後の経済成長の鍵となる戦略分野については国内投資、研究開発、人材育成等への支援にさらに力を入れ、安定的な供給に向けた取組を

において分野別投資戦略を取りまとめました。こを進めていきます。そして、経済安全保障に関する産業・技術基盤に影響が及ぶ脅威やリスクをいち早く捉えるために「経済安全保障に関する産業技術基盤強化アクションプラン」にまとめておりますように、産業界の皆様との戦略的対話を行って参りたいと存じます。また、イノベーションを支えるスタートアップのグローバル展開や人材育成等に対し幅広い支援を行うとともに、G7広島サミットで合意された、グローバルサウスとの連携強化の推進も進めてまいります。

昨年12月には、「アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)」構想の下での初のAZEC首脳会合を開催いたしました。経済産業省からMOU等の協力について報告を行ったところですが、引き続き官民連携してエネルギートランジションを進めていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

こうした経済成長のチャンスを見逃さぬよう、流動的な経済構造の変化を捉え、自由で公平な通商・貿易環境の構築、新たなイノベーションモデルを支える基盤の整備、加えて、日本経済の土台となる投資への支援等に重点を置いて政策を推進することで、日本経済の更なる成長に貢献してまいります。

本年が、皆様方にとりまして更なる飛躍の1年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

3. 2024年新年賀詞交歓会開催

当工業会の2024年新年賀詞交歓会は、1月10日(水)13時30分から日本工業倶楽部3階大ホールにおいて開催されました。4年ぶりの開催となる本会では、経済産業省をはじめ各関係団体、報道関係、当工業会関係者を含め100名が出席しました。開会にあたり各出席者のご挨拶では、この度の能登半島地震に触れ、お悔やみと早期復興への協力が述べられました。

はじめに、当工業会の内梨会長からの挨拶では、主要事業3点について説明がありました。①本年11月27日(水)から30日(土)までインテックス大阪にて開催される **JIAM 2024 OSAKA** 「国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市」について、②第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業について、③共通基盤

ネットワーク研究会では、一般財団法人機械システム振興協会様から委託を受け取り組んでいる、「縫製工程の自動化に向けたCADデータ活用に関する戦略策定事業」についてです。

続いて、ご来賓を代表して経済産業省 製造産業局 産業機械課課長 安田篤殿から、産業界の現状や課題、経済産業省の取り組みについてご挨拶がありました。続いて、当工業会の近藤章吾副会長 (**JIAM 2024** 実行委員長)の挨拶では、**JIAM 2024 OSAKA** における海外やノンアパレル分野に向けてのアピールの重要性が、**JIAM 2024** 成功の決意表明とともに語られました。最後に美馬成望副会長から、「厳しい状況乗り越えてこそ発展もある」という中締めのご挨拶があり、新たな1年に向けて結束を強めた中での散会となりました。



内梨 晋介 会長



安田 篤 産業機械課長



近藤 章吾 副会長



美馬 成望 副会長



4. 共通基盤ネットワーク研究会（戦略策定事業）

「縫製工程の自動化に向けたCADデータ活用に関する戦略策定事業」において共通フォーマットを策定しました。また、CADデータを試作機に転送し、実際に縫製する実証実験を行いました。これらの成果は、報告書として取りまとめるとともに、共通フォーマットの普及、促進に向けた方策について検討を進めていきます。

5. 第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品決定

全国の小学生、中学生、高校生を対象に実施した第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールは、応募校数472校（前年558校）、応募点数2,735点（前年3,375点）でした。厳正な審査の結果、入選作品などが右のとおり選ばれました。

入選作品表彰式は、2024年3月2日（土）、13時30分より日本工業倶楽部（東京都千代田区丸の内）において執り行う予定です。

なお、入選作品等の詳細につきましては、後日、会員及び報道機関に向けてお知らせします。

1. 作品賞

- 最優秀賞 5点
- 優秀賞 25点
- アイデア賞 3点
- 佳作賞 33点
- 努力賞 172点
- 全国ミシ商工業協同組合連合会技術賞 1点
- SDGs 特別賞 1点

2. ホームソーイング振興最優秀校賞

小学校、中学校、高等学校 各1校（計3校）

6. 第36回部品部会開催

2024年1月19日（金）、15時より東京国際フォーラム（東京都千代田丸の内）において、「第36回部品部会」を開催しました。当日は、廣瀬部会長をはじめ部会員6名、事務局2名を含めて8名が出席し、2023年上半期のJASMA統計及び縫製機械部品の工業会統計、2024年度部品部会事業計画（案）を説明し承認されました。その後、市場動向に関する意見交換・情報交換を行いました。

7. JIAM 2024 OSAKA 出展状況・募集について

会員企業、一般等を含めて、552小間の出展申し込みとなっております。（2024年2月13日現在）

なお、**JIAM 2024 OSAKA** では、JASMA会員以外の皆様にも、スペース拡大などをご検討いただけるよう「早期申込特別割引料金」をご用意しています。

この度、早期申込特別割引料金の適用を2024年2月末日まで延長しました。出展をご検討の方は、このタイミングでのお申し込みをお願い申し上げます。

早期出展申込締切2024年2月29日（木）/通常出展申込締切2024年4月26日（金）

※締切日前に予定小間数に達した時点でお申し込みは締め切らせていただき、以降はキャンセル待ちとなります。

お問い合わせ

JIAM デスク メッセフランクフルト ジャパン株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見町1-8-19 住友不動産千代田富士見ビル4F

Tel. 03-6380-8804 Fax. 03-3262-8442

info@jiam-show.com <https://jiam-show.com/>

編集後記

年始の石川県能登半島地震にてお亡くなりになられた方に深く哀悼の意を表します。

また被災地でご苦労されている皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。1日も早い復興を心より願っております。

本年は年始から大きな天災や事故に見舞われた日本ですが、これに負けず頑張っていきたいものです。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(H. F)

JASMA 会報

Vol.20 No.4 2024年2月21日

一般社団法人日本縫製機械工業会

発行責任者:湯原 孝志

〒105-0004

東京都港区新橋5-25-3 第二一松ビル2階

Tel. 03-6435-8190 Fax. 03-6435-8192

URL <https://jasma.or.jp>

e-mail info@jasma.or.jp

本JASMA会報は、発行後、当工業会ホームページに掲載しております。